

「交流及び共同学習」を通して、 心のバリアフリー化を推進します！

～「インクルーシブ・プログラム推進モデル事業」の取組より～

【事業の目的】

障害のある子どもと障害のない子どもが、共に学び合う「インクルーシブ教育システム」の構築を推進するため、お互いの個性や多様性を認め合い共に育ち合う契機とします。



長浜養護学校分教室と伊吹高校との
グラウンドゴルフを通じた活動

参加した 生徒の声

(伊吹高校1年生)

今日は、分教室の人たちとグラウンドゴルフをしました。分教室の人と一緒に過ごすのは初めてでしたが、グラウンドゴルフをしていくうちに、会話の量が増えていき、とても楽しい時間が過ごせました。



野洲養護学校と
篠原小学校との交流



響話学校と地域で学ぶ聴覚障害児
との陶芸を通じた取組



甲良養護学校と甲良中学校との
キンボールを使った交流

「交流及び共同学習」とは、障害のある子どもと障害のない子どもが、相互のふれあいを通じて豊かな人間性を育むことを目的とする「交流」と、教科等のねらいの達成を目指す「共同学習」が一体となっているものです。